



# 悠紀だより

甲府市立石田小学校  
令和2年5月25日  
Vol. 4  
校長 雨宮秀樹



## 令和2年度 入学式が行われました。

5/24(日)待ちに待った入学式が挙行されました。この日を迎えるまで、何度も「入学式延期」の連絡をしてきました。その度に、「残念ですが、このような状況では仕方がないですね。入学式が迎えられる時を楽しみにしています。」との言葉も戴いてきました。

石田小学校の枝垂れ桜も若葉となり、チューリップの代わりにシロツメクサが盛りとなる中、ピカピカの1年生23名を迎えることができました。保護者の皆様はもちろん、私たち職員も一生忘れることのない入学式です。

### 歓迎の言葉

色とりどりのバラの花・紫色のアヤメ・桐の花……。たくさんの花が咲き誇り、周りの山々も燃えるような緑となりました。まるで、23名の子どもたちの入学をお祝いしているかのようです。本日ここに、令和二年度甲府市立石田小学校の入学式が挙行できますこと、心より嬉しく思います。

一年生のみなさん、入学おめでとう。みなさんは石田小学校の一年生です。たくさんのお兄さんやお姉さん、そして先生たちも、皆さんが入学してくる今日の日を楽しみに待っていました。この後、皆さんが素敵な一年生になるための秘密を、担任の伊藤裕美子先生より教えていただきます。今日のお勉強は、しっかりとお話を聞くことです。そして、明日からも、早寝・早起き・朝ごはん、元気に学校に来てください。

さて、保護者の皆様、お子さまの御入学、誠におめでとうございませう。「自ら学び 認め合い 支え合う 健やかな子」という学校教育目標に向け、愛情と優しさ・厳しさをもち、教職員一同、教育活動に励んで参ります。

現在も、世界中で新型コロナウイルスの影響が出ています。しかし、いよいよ、感染リスクを最大限抑えながら、子どもたちの「学びを保証する段階」に入ってきました。今後も、例年とは異なる一年間になることが予想されます。学校でも、日々「新たな知見」を基にした対策を取ってまいります。どうぞ、保護者の皆様の御理解と御協力を賜り、「子どもの豊かな未来のため」家庭と学校が協力できますよう、お願いいたします。

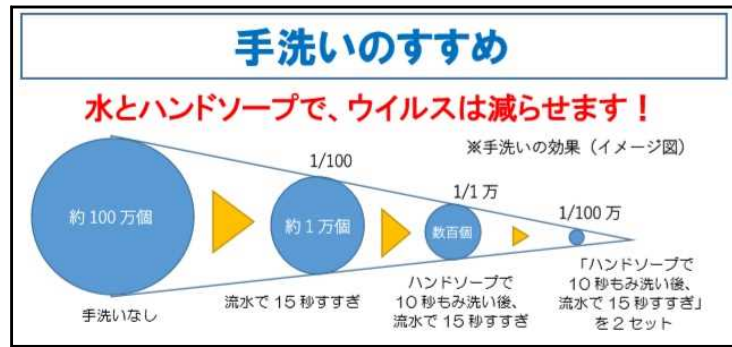
花が美しく咲くためには、休眠解除の低温刺激が必要だと言われています。厳しい環境を乗り越えてこそ、花は美しく開花します。23名の入学生の大いなる開花を祈念し、「歓迎の言葉」といたします。

令和2年5月24日

甲府市立石田小学校 校長 雨宮秀樹

# いよいよ学校再開です！

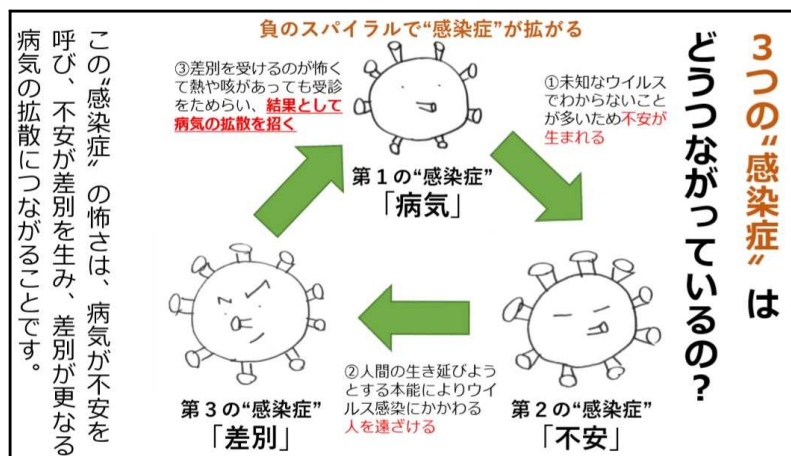
感染リスクを最大限抑えながら、子どもたちの学びを保障するため、いよいよ学校再開となります。最初の2週間は半日授業という時程の中で、学校での集団生活における感染症対策の定着に指導の重点をおきながら学習を再開します。学校生活のリズムに戻る



厚生労働省HPより

ための期間でもあるので、午後からも午前中の授業の復習をしながら学習内容の定着を図ったり、久しぶりの学校生活で頑張った心身を休めながら体調を整えたりする時間になるよう声をかけてあげてください。学校では、感染リスクを下げるため常時マスクの着用をし、こまめな手洗い・消毒を徹底すると共に、授業中や休み時間も密閉・密集・密接等をできるだけ避けるための対策を取っていきます。帰宅後も、大勢で集まり接触して遊んだりすることが無いよう、是非御指導ください。

授業の再開に当たり、それぞれの学年に合わせて「コロナウイルス感染症に係る教育」を早期に実施します。これは、コロナウイルスへの正しい理解や対応のあり方に関する学習です。具体的には、咳エチケットやマスクの着用が、飛沫感染を避けるために必要であるということや、手洗いや消毒が接触感染を防ぐために大切であること等を指導します。また同時に、偏見をなくし人権を守る教育も進めます。世界中が不安な思いを抱えている中、自分と異なった反応を示している人を冷静に受けとめたり判断したりすることが難しくなる傾向が起こります。不寛容な社会に陥らないよう「自分を大切にし、周りの人も同じように大切な存在である」ことに気付かせていきたいと考えます。



日本赤十字社HPより

運動会などの学校行事を始め、修学旅行や林間学校・校外学習など各学年の行事、家庭科の調理実習や音楽科の歌唱など感染症対策を講じてもお感染のリスクが高いと考えられる各教科の学習活動について、今後の状況に応じて実施の可否や対応等を決めていきます。直近では、6月の授業参観と引き渡し訓練、4年連合音楽会、本年度の水泳授業（「事故防止等の心得」及び「安全確保につながる運動」については、教室で指導が可能なため学習します。）は実施しません。コロナウイルス対策に関わり、社会でも、家庭でも、学校でも「新しい生活様式」を踏まえた変化が求められています。常に状況を見極め、新たな知見を基に、子どもたちの健康・安全と豊かな学びの関係の中で、その都度、判断していくこととなります。計画していた活動ができなくなるなど、例年とは異なる年になりそうですが、何卒、御理解と御協力をお願いいたします。